

事務事業	5023	公会計改革推進事業	担当課	経営企画課	担当係	財政係
------	------	-----------	-----	-------	-----	-----

計後 画期 体計 系画	施策	19	将来にわたって持続可能なまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	530	健全な財政運営を行う		款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	3	財政管理費

法令根拠条例等	平成27年1月23日付総財務第14号 総務大臣通知 「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」	個別計画
---------	--	------

実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	年度より開始	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	27 年度～ 29 年度
------	---------------------------------	--------------------------------	--------	---	--------------

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 財政状況の一層の「見える化」を行うため、現行の現金主義会計を補完する「発生主義会計」による財務書類を、総務省より示された新たな統一的基準により作成する。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 統一的な基準による地方公会計導入に向けた準備 固定資産台帳整備業務の委託契約にかかる事務	主 な 事 業 費 の 内 訳	公会計財務書類作成等支援業務委託料 3,348 千円
		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・28年度決算分財務書類の作成(統一的基準による) ・固定資産台帳整備 ・研修会、説明会への参加	事務事業の目的
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 公会計システムの整備	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 総務省より示された統一的基準による財務書類を作成する。	

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 前年度決算分財務書類の作成(28年度作成分は総務省改訂モデル)	式	1	1	- (見込)	
イ 研修会、説明会への参加回数(のべ回数)	回	7	3	- (見込)	
ウ				- (見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 固定資産台帳の整備	式	1	1	- (見込)	
イ 公会計システムの整備	式	1	1	- (見込)	
ウ				- (見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 策定進捗率	%	目標	50	100	-
		実績	50	100	/
イ		目標			/
		実績			/
ウ		目標			/
		実績			/
エ		目標			/
		実績			/
オ		目標			/
		実績			/

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	10,233	4,196	3,348			
		合計(A)	10,233	4,196	3,348	0	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	2,490	3,393	2,970				
トータルコスト(A)+(B)	12,723	7,589	6,318	0	0	0		

事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
平成27年1月23日総務大臣通知により、原則として平成29年度までに、すべての市町村において、統一的な基準による地方公会計の整備をするよう要請された。	志免町以外の市町村においても現在整備を進めている状況。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	平成29年度は統一的な基準による地方公会計導入の初年度に当たる年であり、適切かつ正確な複式簿記導入が求められる年度となる。財務会計データの仕訳や固定資産データ更新などをできる限りの確に行うことが29年度に求められることであり、28年度に引き続き慎重に導入を進めていく。 また、30年度以降は公会計をどのように活用していくかも求められているため、町にあった活用方法についての検討も行っていく。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	従来の単式簿記とは異なる複式簿記の導入により財政の見える化の促進となり、また、統一的基準により他自治体との比較も可能となることで財政の健全化に活用できる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	自治体間の比較や、各指標の分析など行うことで、財政の状況を把握し、事業計画の策定などに利用することにより財政健全化を図る。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	統一的な基準に合わせた財務書類を作成することが成果である。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	総務省からの通知で全団体に対して要請されており、独自に廃止することはできない。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	公会計における財務書類作成の更新における初年度であるため、今回の作成におけるコストが今後の基準になると考えられる。

(2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

29年度は財務書類の作成が目標であったが、作成過程におけるスケジュールの遅れが反省点としてあげられる。連結財務書類など、一部事務組合や広域連合からの財務書類の収集などに手間取ったこともあり、今後は「公会計改革推進事業」に移行するが、更新におけるスケジュールの見直しが必要となってくる。

3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input checked="" type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	30年度以降は「公会計推進事業」にて統一的な基準における財務書類の作成を行っていく。